




公共施設のあり方検討 市民ワーキングの概要

2017.10.14

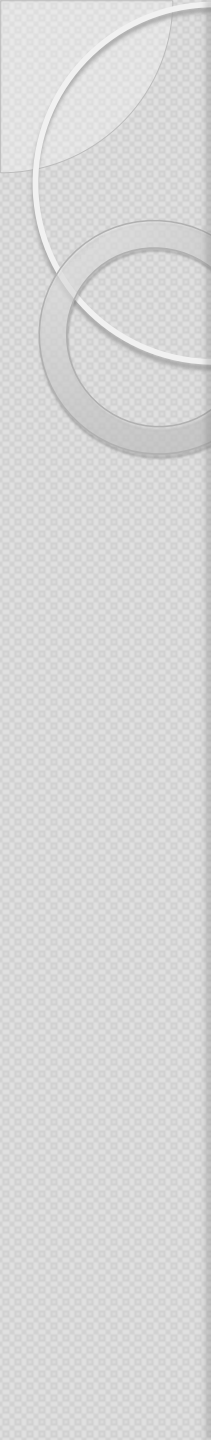
第3回公共施設のあり方検討市民ワーキング
長久手市総務部財政課



まちづくり、
まずは笑顔で
こんにちは

内容

1. 本ワーキングの目的と公共施設等総合管理計画
2. これまでの振り返り
3. 今後のスケジュール



1. 本ワーキングの目的と 公共施設等総合管理計画

1. 本ワーキングの目的と公共施設等総合管理計画

本ワーキングの目的

■ 市民が使う公共施設の今後のことを、行政だけでなく、市民と一緒に考える。

■ 考えた結果を参考にし、「公共施設等総合管理計画」を更新する。

1. 本ワーキングの目的と公共施設等総合管理計画

公共施設等総合管理計画とは

【公共施設等総合管理計画とは】

・公共施設等の総合的かつ計画的な管理を推進するための計画。

【計画の目的】

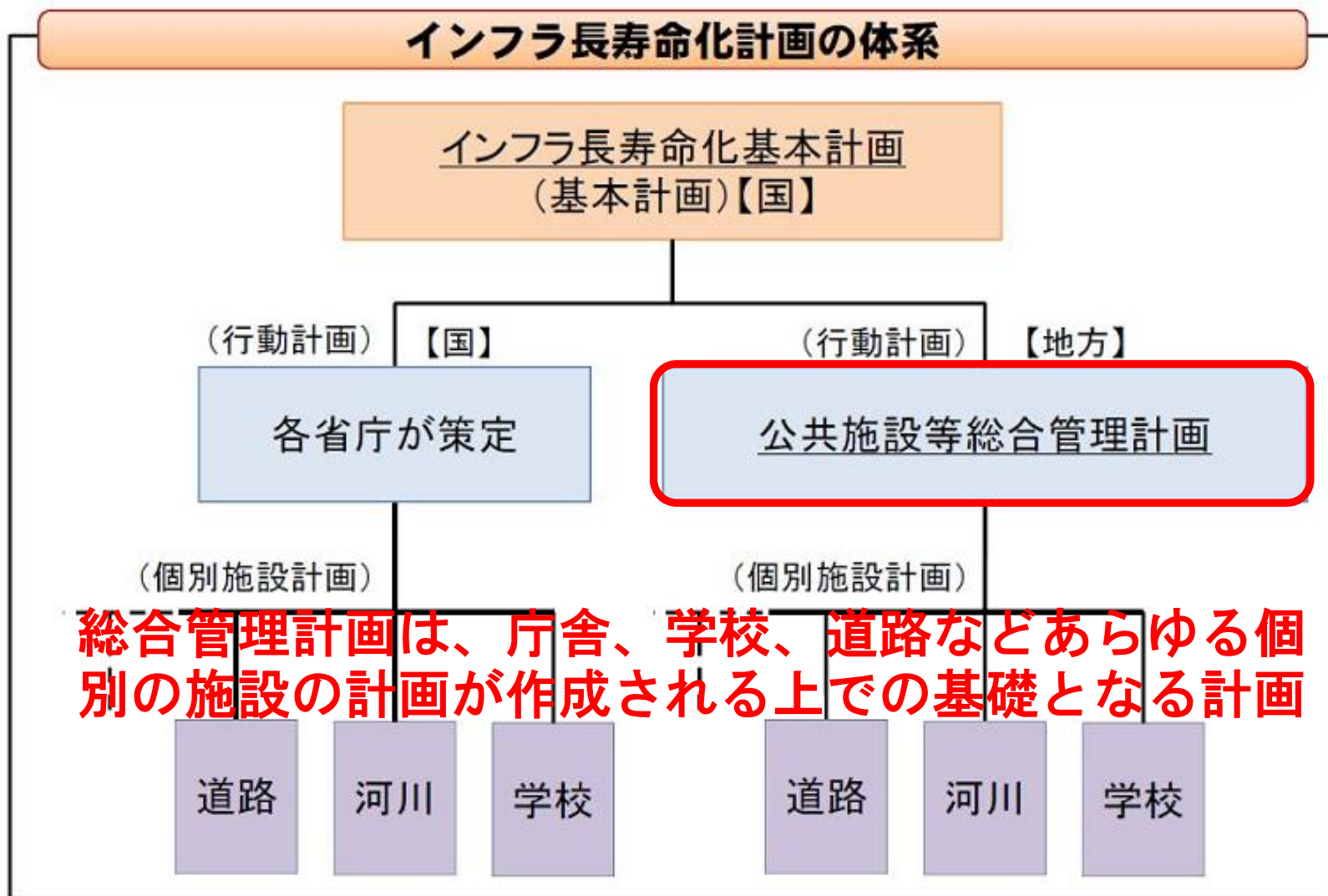
・将来発生する公共施設等の更新需要に備えるため、長期的な視点をもって公共施設等の更新や長寿命化対策を計画的に行うとともに、所要の財源の確保、財政負担の平準化を図る必要がある。

平成29年度は、更新版を策定する予定。



1. 本ワーキングの目的と公共施設等総合管理計画

公共施設等総合管理計画とは



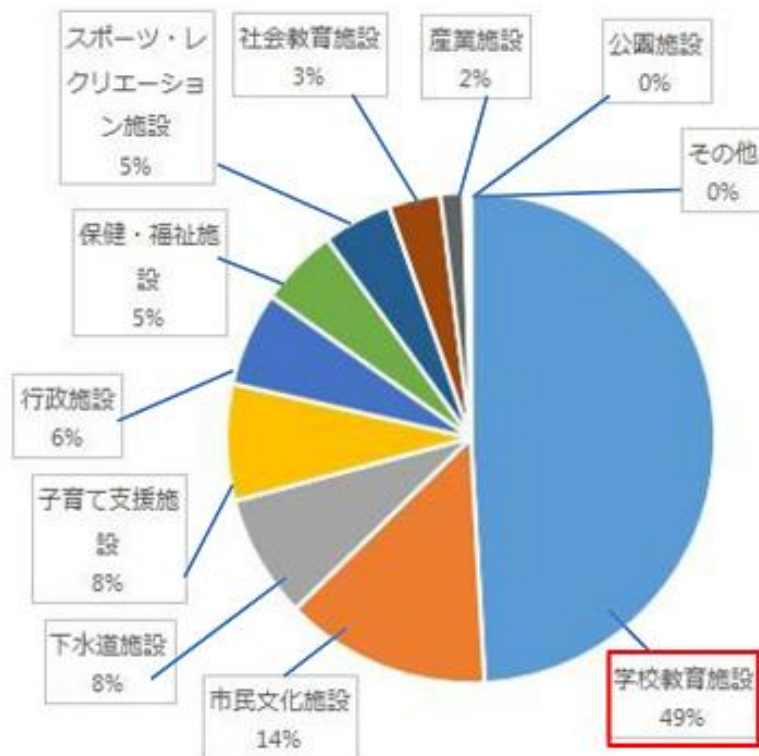
1. 本ワーキングの目的と公共施設等総合管理計画

公共施設等総合管理計画とは（内容一部抜粋）

- 本市の公共施設の保有量は、合計で約151,998㎡です。うち、学校教育施設が全体の49.1%、市民文化施設が全体の13.6%、下水道施設が全体の8.1%を占めています。

施設（大）分類	面積(㎡)	構成比
学校教育施設	74,651.00	49.1%
保健・福祉施設	7,917.10	5.2%
産業施設	2,361.00	1.6%
市民文化施設	20,643.00	13.6%
スポーツ・レクリエーション施設	6,914.06	4.5%
行政施設	9,510.00	6.3%
社会教育施設	5,204.00	3.4%
子育て支援施設	11,746.00	7.7%
その他	317.00	0.2%
公園施設	354.21	0.2%
下水道施設	12,381.00	8.1%
合計	151,998.37	100.0%

(*)複合施設は、用途別に分けて計上。

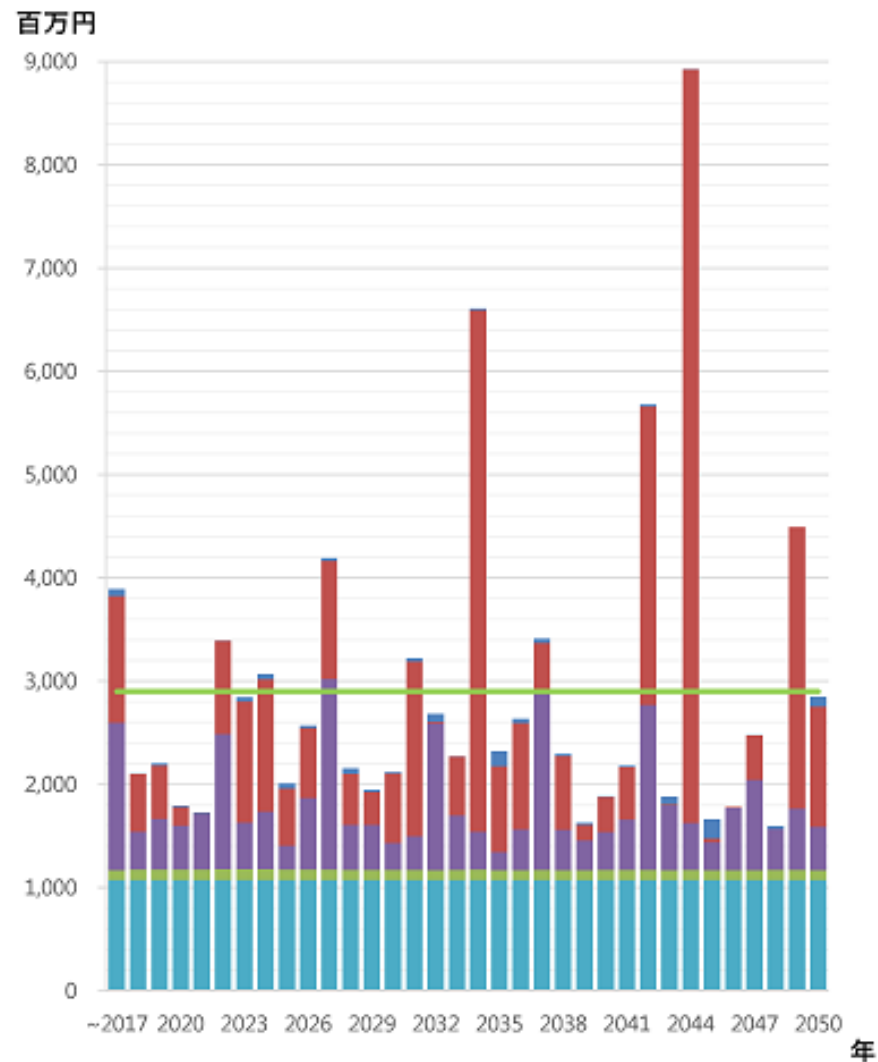


※「長久手市公共施設等総合管理計画」から抜粋

1. 本ワーキングの目的と公共施設等総合管理計画

公共施設等総合管理計画とは（内容一部抜粋）

- ライフサイクルコスト(LCC)は、生涯費用という意味です。
- ライフサイクルコストの考え方を踏まえ、計画期間で発生する運用管理コスト(管理運用、経常的修繕、修繕)及び解体再利用コストを含めた、期間コスト推計を行いました。
- 期間コストの総額は約985.3億円となり、年平均では約29億円の費用がかかるものと推計されます。



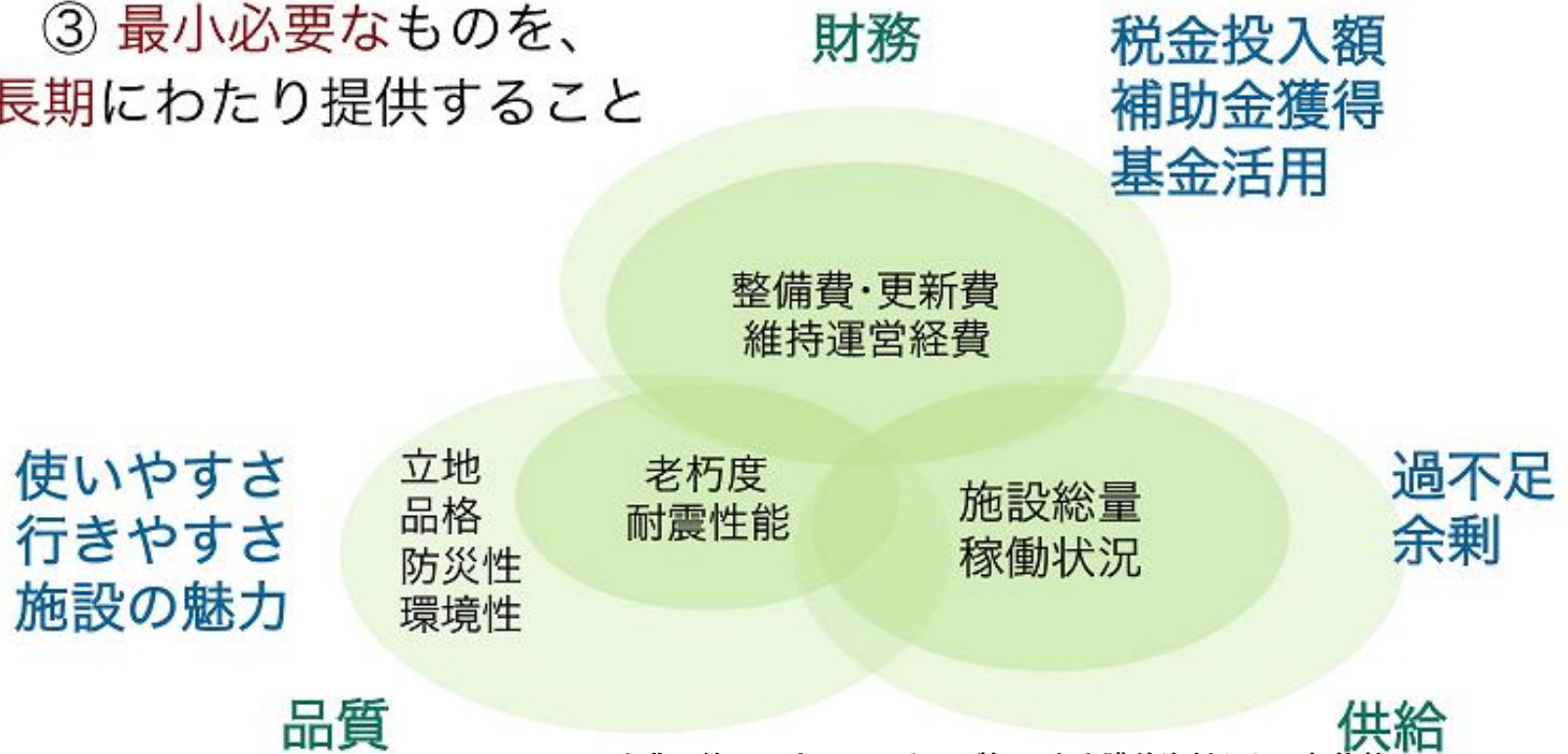
※「長久手市公共施設等総合管理計画」から抜粋

1. 本ワーキングの目的と公共施設等総合管理計画

ファシリティマネジメント（FM）とは（一般論）

公共施設マネジメント（FM）とは、
組織の**目的達成**のために、公共施設**すべて**を**経営資源**として

- ① **経済的なコスト**で、
- ② **良好な品質(環境)**を、
- ③ **最小必要なもの**を、
長期にわたり提供すること



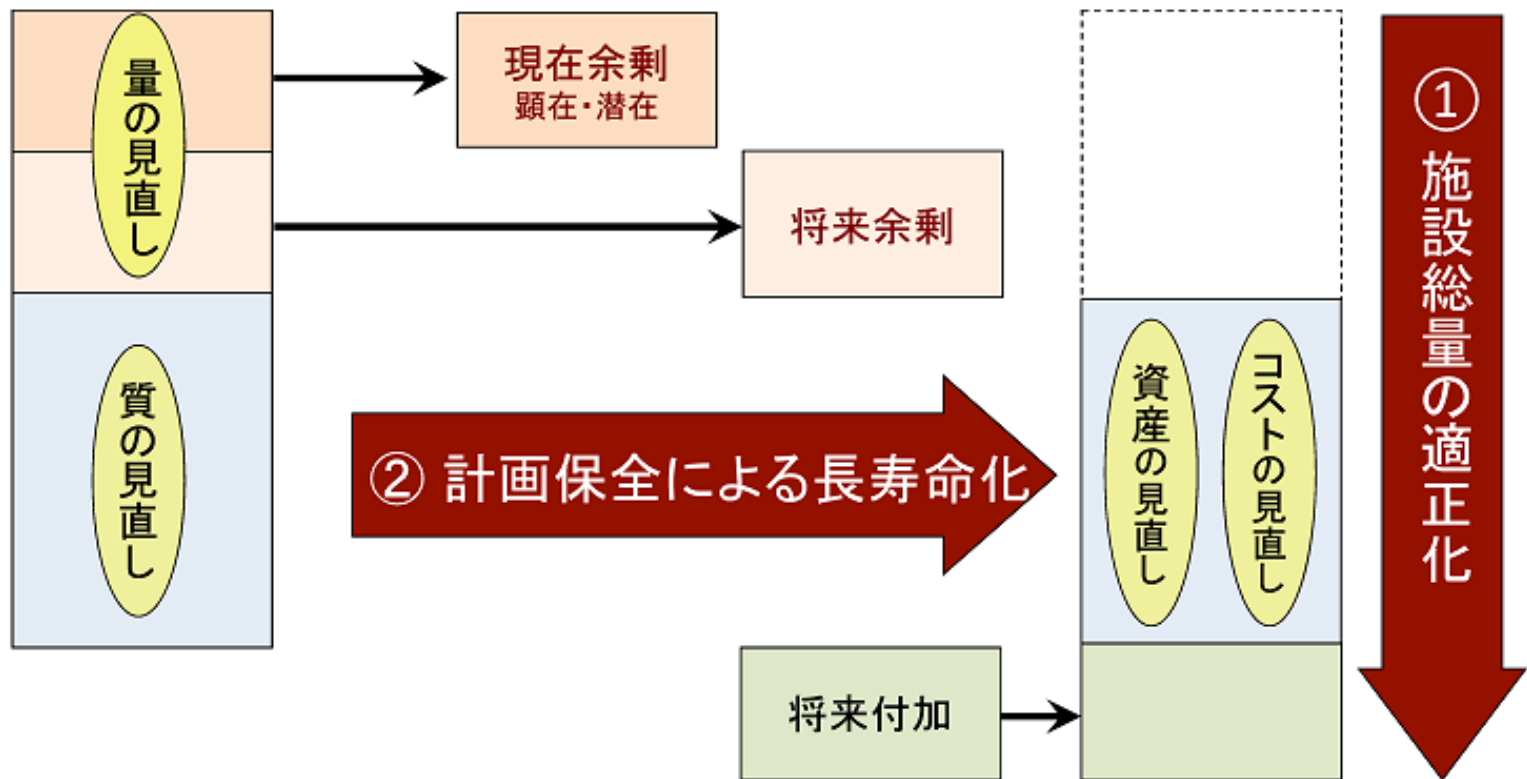
出典：第1回市民ワーキング恒川先生講義資料から一部抜粋

1. 本ワーキングの目的と公共施設等総合管理計画

ファシリティマネジメント（FM）とは（一般論）

<現在の施設群>

<将来の施設群>

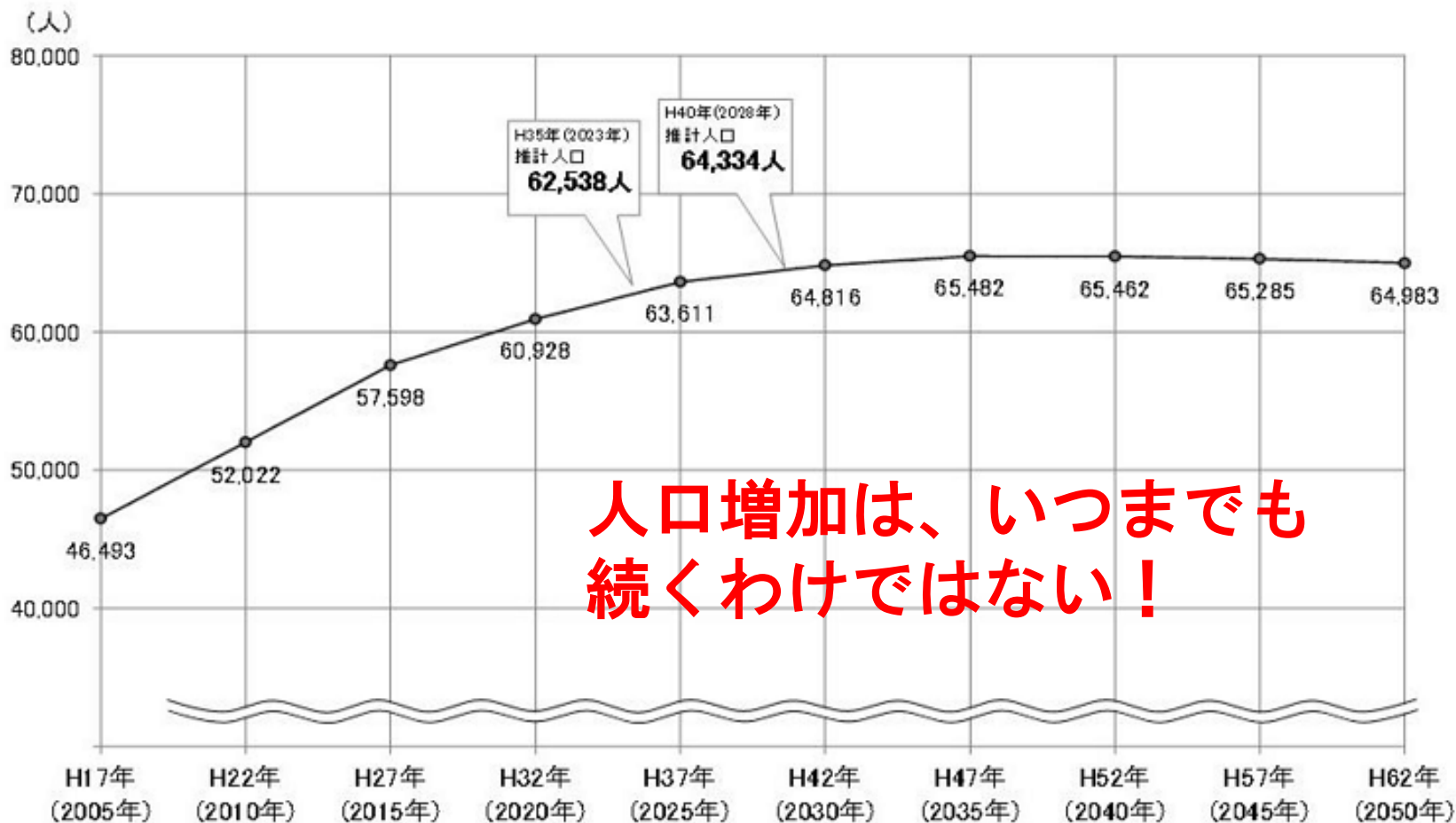


目標設定のための施設関連データに基づくマネジメント

1. 本ワーキングの目的と公共施設等総合管理計画

長久手市の状況（人口推計）

・2035年～2040年頃の約65,000人をピークとし、以降は緩やかに減少すると推計されています。

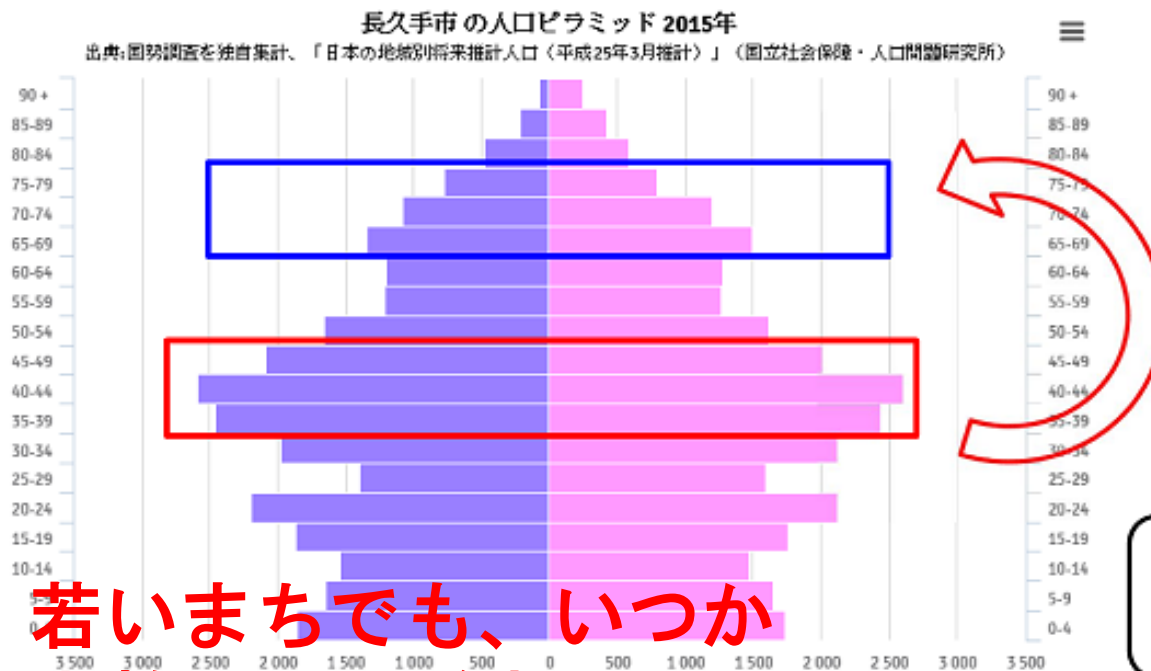


1. 本ワーキングの目的と公共施設等総合管理計画

長久手市の状況（人口構造）

本市の人口構造の変化

長久手市の人口ピラミッド(5歳階級別人口)



若いまちでも、いつか
高齢化の波が来る！

超高齢・人口減少社会の
課題は、現役世代も考え
なければいけない問題

○人口の割合が多い現在35歳～54歳の年齢層が、2050年頃
には後期高齢者になっている。

1. 本ワーキングの目的と公共施設等総合管理計画

長久手市の状況（公共施設の特徴）

- 人口・人口密度からみて、一人あたり公共施設保有量は県内平均レベル
- 学校施設の比率が50%、医療・保健施設、文化施設、図書館の一人あたり面積は大きい
- 人口増加に合わせて施設が建設されてきたが、老朽度はほか自治体に比べて低い
- 今後も人口は増加傾向にあり、施設需要は高まり、今後も市役所等施設の整備も想定される
- リニモ沿線や主要道沿線には公共施設が少ない
- 公園、博物館、大学、大型商業施設など、社会資本の充実度はきわめて高い

→将来的な都市の姿と公共施設計画の方向性は一致するか？

1. 本ワーキングの目的と公共施設等総合管理計画

本ワーキングの目的

■ 市民が使う公共施設の今後のことを、行政だけでなく、市民と一緒に考える。

■ 考えた結果を参考にし、「公共施設等総合管理計画」を更新する。

2. これまでの振り返り

2. これまでの振り返り

第1回市民ワーキング



2017.8.26(土) 第1回ワーキング

★公共施設に関するレクチャー

★グループワークによって施設面での市の特徴を把握



2. これまでの振り返り

第2回市民ワーキング



2017.9.24(日) 第2回ワーキング

★市内公共施設の現地確認

★現場を見た上での意見交換

3. 今後のスケジュール

3. 今後のスケジュール

